

会 議 録

会議の名称	第26期東村山市青少年委員の定例会兼事前研修会（第21回）				
開催日時	平成28年12月1日（木）午後7時00分～9時00分				
開催場所	いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>●出席者： （委員） 藤澤功明会長・森田明美副会長・池田みのり委員・小島恵子委員・佐々木悟子委員・鈴木史秋委員・多田啓子委員・飛澤誠委員・宮崎真吾委員・横山大吾委員・横田昇委員</p> <p>（市事務局） 社会教育課：平島課長・朝岡係長・天野</p> <p>●欠席者： （委員） 木村一樹委員・児玉光昭委員・長谷川篤人委員・宮崎貴幸委員</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年委員会会長挨拶 2. 社会教育課長挨拶 3. 協議事項 4. 活動報告 5. 事務連絡 6. 事務局より 				
問い合わせ先	教育委員会教育部社会教育課社会教育係 担当者名 朝岡・天野 電話番号 042-393-5111（内線3515） ファックス番号 042-397-5431				
会 議 経 過					
<p>1 青少年委員会会長挨拶 先般の育成塾第7回「食育」では、「武蔵野うどん」と「うでまんじゅう」を作り、郷土食を体験しました。今年度の育成塾も残すところ1回となり、次年度の計画も立てていく時期となります。インフルエンザが昨年より早く流行し始めましたので、体調にご留意いただき、よろしくお願いたします。</p> <p>2 社会教育課長挨拶 次年度から、学校の授業が第2土曜日や夏休み期間中の4日間など、学校独自の判断で実施すると聞いております。また、青葉小学校では、7月24日から7月27日までの4日間で授業を実施する予定とのでしたので、今年度は、青少対キャンプは、7月26日に7地区から開始し、8月1日に6地区で終了するという日程で予定しております。会長からお話がありましたように、お体に気を付けていただいて、残りの活動もよろしくお願いたします。</p> <p>司会：森田副会長</p> <p>3 協議事項 平成28年度「輝け！東村山っ子育成塾」 （1）第8回「まとめとふりかえり」 （司会） ・11月27日にリーダー企画の話し合いに、会長、副会長が参加しましたので、その際の話し合った内容の報告を兼ねさせていただきます。</p>					

(C委員)

- ・リーダー企画は、2チームに分かれて企画を立ててきました。
- ・午前の活動のうち、前半と後半に分かれてミニゲームをたくさん行います。その都度、リーダーから皆さんにお手伝いをお願いすることがあるかと思しますので、臨機応変に対応いただきますよう、よろしくお願いいたします。

(2) 平成 29 年度「輝け！東村山っ子育成塾」事業計画案等

(司会)

- ・平成 29 年度「輝け！東村山っ子育成塾」事業計画を企画するにあたり、どのように決めていくかについて話し合いたいと思います。今年度は、任期満了に伴い、委員の入れ替えがあるかもしれませんので、今期の委員で責任をもって計画していただきますよう、よろしくお願いいたします。

(C委員)

- ・どの会場を抑えているのかという来年度の日程表の資料を配付し、保育体験を行うかどうかも含めて計画していただければと思いますが、いかがでしょうか。

(E委員)

- ・まず先にどのような事業を行いたいのかという案を出してから、日程を決めるのはいかがでしょうか。

(B委員)

- ・担当者を先に決めてから、その担当者で企画の方向性を決め、定例会での話し合いで意見を出し合って、企画に肉づけを行うのはいかがでしょうか。
- ・メリットは、担当者が責任をもって企画を練れること、企画のパターン化からの脱却できることだと思います。

(J委員)

- ・年数を重ねるごとに、事業内容がパターン化していることは問題だと感じていますが、年間を通した企画を立てることで、偏りなく様々な体験を提供する場としていきたいと考えています。

(K委員)

- ・計画は、できるだけ1年間を通して考えていきたいと思っています。

(F委員)

- ・「白州キャンプ」、「バス研修」、「リーダー企画」といった必ず入れる活動分類と、残りの回数で、東村山を知ってもらえるような活動を取り入れていくような昨年度と同様な形式で計画するのはいかがでしょうか。

(司会)

- ・皆さんから挙げられた意見を総括すると、たたき台となるような内容を考え、日程や会場等は必要に応じて調整していくということでよろしいでしょうか。

(異議なく了承された。)

(司会)

- ・担当者が計画たてやすいように、各回の担当者は3名を目安にいただければと思います。
- ・「リーダー企画」は必ず入れなければいけないというわけではありませんが、最終回には、これまでの活動をふりかえる回を入れていただきたいと思っています。

(C委員)

- ・回数につきましてはいかがでしょうか。

(D委員)

- ・様々な活動をするには、8回は必要だと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なく了承された。)

(C委員)

- ・「いのちの大切さを知り、ともに生きる」という育成塾のテーマを念頭に、地域に密着した子どもを育てられるようなよりよい企画が立てられるよう、自由に企画を考えていただきますよう、よろしくお願いいたします。

司会：森田副会長

4 活動報告

(1) 青少年健全育成大会

(A委員)

- ・中学生の作品や絵画の作品をみましたが、それぞれしっかりとした考えをもっており、素晴らしい発表でした。

(B委員)

- ・1才の子どもと一緒に見に行きましたが、子どもも絵画をじっと見ており、作品のメッセージ性が伝わっているようでした。

(C委員)

- ・作品の選考会に、青少年委員長が代表として選考委員に加わり、参加しておりました。本来でありましたら入選作品は10作品までとなっておりますが、今回は、大変優れた作品が多かったため、11作品を入選作品としました。
- ・善行表彰に、育成塾のリーダーから2名が表彰されました。
- ・進行の時間配分や進捗、会場設定など、うまく進行されていたのではないかと思います。

(司会)

- ・善行表彰に選ばれた2名の育成塾リーダーを祝う会をしました。例年、育成塾リーダーに声掛けをしていましたが、今回は連絡が行き届かなかったため、育成塾第8回の懇親会の際には、リーダーへの連絡を徹底したいと考えています。

(事務局)

- ・例年アトラクションを鑑賞する時間を設けておりましたが、今年度は表彰のみの形式で開催させていただきました。
- ・表彰するにあたり、市民センターではなく、マルチメディアホールで行うのはどうかという意見もいただきましたが、青少年問題協議会で協議していただきたいと思っております。
- ・市民センターで開催する場合は、表彰者には壇上に上ってもらい、後ろの席からも見えるように考慮していきたいと考えております。

(2) 育成塾第7回「食育」

(D委員)

- ・全員がマスクを着用したことや各班に手指消毒用ジェルを配付いたことは、衛生面からよかったのではないかと思います。
- ・参加者を火元に近づけないように徹底できたことや、包丁を各班に1本ずつの配布としたことで、安全管理ができていたのではないかと思います。

(E委員)

- ・爪を短く切る事前の指示や、プリントを用いて手の洗い方を事前に指導することなど、事前の準備が徹底できていてよかったのではないかと思います。
- ・子どもの洋服の袖口を輪ゴムでとめることで、スムーズに調理をすることができたとも思います。

(F委員)

- ・講師の方には、なぜ東村山でうどんの文化が根付いたのかについて、地理や歴史の話しを交えて講義していただき、参加者も興味深く聞いており、郷土の歴史を学ぶいい機会となりました。
- ・せっかくの食育ですので、地産地消で地粉を用いるのもよいのではないかと思います。

(G委員)

- ・自分で作ったものを食べるという貴重な体験ができました。
- ・切り方を間違えなければ、長くつながるうどんをつくれていました。

(H委員)

- ・ガスコンロの方で裏方作業をしており、班活動でじっくりと参加者の様子を見ることがなかなかできませんでしたが、事前研修を行ったおかげで、本番では上手に作ることができました。
- ・班のふりかえりには、講師の話の内容も書かれており、参加者が講師の話のしっかりと聞いていたことが分かりました。

(I委員)

- ・食育を行うにあたり、子どもたちの安全管理や衛生面への配慮、準備など、多くの仕事がある回でしたが、無事にできましたのも、皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

(A委員)

- ・うどんの肉汁を事前に配付したので、食べる頃には冷めてしまいました。大人数の実施のため、難しいかもしれませんが、温かい肉汁を配付できればと思いました。

- ・講師の方が、地粉のうどんを用意して下さったおかげで、小麦粉と地粉のうどんを食べ比べることができました。
- ・上手にローテーションしながら作ることが出来たので、うどんの量も十分だったと思います。

(J委員)

- ・事前の打合せでは、早く作り終わった班から食事ということでしたが、当日は、どの班もほぼ同じペースでしたので、臨機応変に一斉にいただきますとなりました。食育は、事前の打合せも大事ではありますが、当日の柔軟な対応をしていただき、ありがとうございました。

(B委員)

- ・班のなかで作ったうどんの食べ比べをしましたが、同じ粉でも打ち方によって味が異なるのが、興味深かったようです。
- ・作業は、班のなかで分担しながら、協力して片づけも含めた作業ができました。
- ・講師の方のお話を、食べる前に聞きましたが、うどんを打つ前に聞いても楽しいのではないかと思います。

(司会)

- ・事前研修では、なかなか上手に打つことができませんでしたが、講師の方は、事前研修の際に用いた粉で本番まで試行錯誤しながら調整していただいたおかげで、長くつながるうどんを作ることができ、どの班もほぼ同時刻に作り終えることができました。
- ・うでまんじゅうは、星形やハート型などいろんな形で作る参加者もいましたので、なぜ丸く作るのかという理由を説明すればよかったと思っております。
- ・参加者に対して「ダメ」という注意をする際は、言葉や言い方が大事です。子どもの気持ちを傷つけないように、子どもの気持ちに寄り添った言い方を一人一人が意識していただければと思います。

(事務局)

- ・事前研修会も含め、2週連続でご活動いただき、ありがとうございます。
- ・事前研修会と本番では会場が異なるなかで、臨機応変にご対応していただきまして、ありがとうございました。
- ・食育を実施していくにあたり、事前にアレルギーの調査も行っておりますが、当日の体調によっては記載のない食物でアレルギー反応が出てしまう場合もありますので、今後もアレルギー対策のアンテナを立てていきたいと考えております。

(C委員)

- ・事前研修会では、ちぎれてしまったり、うまくこねることができなかつたりしましたが、本番は上手に作ることが出来ました。事前研修会後に、自宅で練習した甲斐がありました。
- ・事前の打ち合わせで、役割分担をしていたので、本番は安全に行うことができました。
- ・地粉は、小麦粉と異なり、独特の風味と味わいに特徴がありました。
- ・うでまんじゅうの作り方も様々で、参加者の独創性が見受けられました。
- ・食育を実施していくにあたり、しっかりとアレルギーの対応と対策を講じていきたいと思っております。
- ・事前研修会および本番ともにご指導いただきました講師の方に感謝しております。

(3) 育成塾第8回「リーダー企画」打合せ

- ・協議事項を兼ねて報告された。

5 事務連絡

①平成28年度東京都青少年委員会連合会12月代表者会議

【日時】12月12日(月)19:00~20:30

【場所】東京体育館 第2会議室

- ・出欠確認を行った。

②平成28年東京都青少年委員大会

【日時】平成29年2月12日(日)13:00~16:00 (受付開始12:30)

【場所】府中の森 芸術劇場 ふるさとホール

- ・日時の連絡を行った。

6 事務局より

- ①東村山市青少年委員任期継続について

- ②平成 29 年 東村山市「成人の日のつどい」
【日時】平成 29 年 1 月 9 日（月）12:00～
【場所】私立明法高等学校 講堂

- ③6 地区青少対子どもまつり
【日時】平成 29 年 1 月 22 日（日）
【場所】第六中学校

- ④市民の集い
【日時】平成 29 年 1 月 29 日（日）13:00 開演
【場所】中央公民館

- ⑤多摩六都ヤングライブフェスティバル
【日時】平成 29 年 2 月 19 日（日）
【場所】富士見公民館

以 上